



今月の表紙は、大草 A と桜坂 A の練習試合での 1 コマです。残り少ない練習に真剣に取り組む様子が伝わってきました。なお、今月から表紙の右下に東日本大震災の復興支援ポスターを掲載しています。無料のポスターやステッカーを希望される人は (<http://www.graphic.co.jp/earthquake/>) をご覧下さい。

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課情報G
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)
FAX63-5139

こうたの民話

「光り仏」 須美

ずっと前のことです。小笠原という殿様が、須美の南山に城を築きました。そして守り仏として、茶臼山の頂上近くにお堂を建て、阿弥陀さんを祭りました。この阿弥陀さん、全身に金が塗られていて、まばゆいほどに光輝く仏さんでした。

しばらくしてこのお城は、城としての価値があまりないというので、廃城ということになりました。けれども、茶臼山の阿弥陀堂はそのまま残されていました。

年月が経つうちに、雨や風がようしゃなくお堂に吹きつけ、いつの間にか扉や屋根が破れてしまいました。けれども、阿弥陀さんだけはいつも光輝いていて、夜にはお堂の破れ目からぴかぴかと光を放っていました。この様子を見た須美の人々は誰ということなく、「光り仏」と呼んでいました。

そんなある日のことでした。幡豆の漁師たちが、てんでにもりややすりをふりがざして押しかけ

てきました。

「おらたち漁師は、満月の時には漁にならねえ。沖に出てさあ漁を始めようと思うと、ここの仏さんがぴかぴか光りだす。そうなったらもうおしまいよ。今日という今日は、おらたちにとっては貧乏神の仏さんをぶちこわすだ。」

と、いうではありませんか。漁師たちの言い分ももっともです。

須美の人たちは、

「あんたたちの気持ち、よく分かった。さっそくお堂を修理する。扉も直し、仏様の光が外にもれないようにする。金ばくも取る。決して皆さんには二度と迷惑をかけないようにする。」

と固く約束して引き取ってもらいました。それから、須美九か村の人たちはみんなでお金を出し合ってこのお堂を建て替えました。この阿弥陀さん、今は如意寺に移されています。もう昔のような光は失われていますが、立派な仏様です。（「こうたの民話」要約）



かねこ よしてる
金子 義輝 さん

みんなの作品展!

平成23年度幸田文化協会春の文化展（陶芸展）からのセレクトです。



きの ようこ
佐野 涌子 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課情報Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで)。

今日の記念日

7月7日は

「七夕・そうめんの日」

奈良時代に中国から伝来し、そうめんのルーツと考えられている「素餅」。小麦粉と米の粉を練り、縄のようにねじったかたちをしていた素餅は、平安時代、宮中での七夕行事には欠かせないお供え物とされてきました。

乾めんメーカーの中央組織「全国乾麺共同組合連合会(全乾麺)」ではそうした歴史的背景にちなみ、7月7日を「七夕・そうめんの日」と決めました。

乾めんは小麦粉、そば粉などを主原料にした自然食品で、製麺法上の違いにより「乾めん」と「干しめん」に分けられます。

乾めん類にはうどん、そば、きしめん、ひやむぎ、そうめんがあり、干しめん類には手延べうどん、手延べきしめん、手延べひやむぎ、手延べそうめんがあります。これらは長期間常温で保存することができ、経済性、利便性に優れた「加工食品」です。また何よりも、調理のしやすさやヘルシーさが受けています。和洋中どのメニューにも合う乾めんは四季折々の食卓を彩ってくれます。全乾麺のサイトでは「きしめん麻婆豆腐かけ」「そうめん茶漬け」などのレシピを紹介していますので、料理の参考にはいかがでしょうか。

※参考資料：<http://www.kanmen.com/>



青春トークリレー
第220走者

いぐち かな 井口 加菜 さん

横落区在住 22歳 会社員

身長 154cm O型

好きなタイプ 優しい人

好きな芸能人 松田 翔太

わたしは高校を卒業してからずっと、幸田町内の会社で働いています。小学校も中学校も高校も幸田です。1回くらい幸田を出るよと思うかもしれませんが、好きなんです幸田が!!!大好きですよ、この何もない感じが。自然があって空気もキレイで、朝日も夕日も夜空も全部がステキだと思います。幸田以外で住みたいところなんてないくらい。どこかに出掛けた帰りに幸田の風景を見た瞬間「やっぱ田舎っていいなあ」って思います。この落ち着く感じがイイ。大好きな友達も家族も居て、安心できるこの町が大好きです。

最近お店などがいろいろできてきてうれしいけど、自然が無くなるのは悲しいので、ちゃんと残してほしいなと思います。



掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



わんぱくどより

「某月某日
〜深溝保育園」

雨つぶぼうや登場!

子どもたちは戸外遊びが大好き。雨が降っても外へ出たくてうずうず…。そこで雨の続いたある日…
「カップを着れば小雨くらいなら大丈夫!」
と大きなビニール袋に切り込みを入れただけの、簡単手作りカップを作ってみました。子どもたちに着せると雨の日の憂鬱な気分を吹き飛ばすほどかわいく、地上を駆けめぐる、雨つぶぼうやのできあがり!

さっそく、みんな大喜びで裸足になって外へと駆け出して行きました。
走りまわりながら、「たのしい〜」「気持ちいいね〜」と大はしゃぎ。園庭に手形や足形をつけては、「ねえ見て見て!」と得意顔。水たまりの中に入ってしまった。そして、泥だんご作りや泥を使つてのケーキづくりなど、いろいろな遊びへと発展していきました。
子どもたちは、『裸足で土を踏むこと』『おもいっきり水と戯れること』『泥をこね回して遊ぶこと』が大好きです。
保育園ではプール開きが



▲雨の日だって楽しいもん♪

7月に行われます。夏ならではのプール遊びも太陽に負けないぐらいのピカピカ笑顔を見せながら遊んでいけることでしょう。



編集者の

ちょっと
わんぱくど

▼先日、学生時代の友人の結婚式に行ってきました。ふとまわりを見れば、既婚者よりも独身の人数の方が少なくなりました。わたしの婚期はまだこんなき?

と、スタートから皆さんのハートをキャッチ!

&リリース!してしまいました。が、実はわたし、姉に子どもがいるため、正式な「おじさん」ということになりました。ところが先日、姪っ子が生まれ、「スーパーおじさん」に昇格。さらに近日、弟にも子どもが生まれるとのこと。このままでは「ウルトラおじさん」への昇格も時間の問題です。ダメ長男つぶりをこごとばかりに發揮しています…。

何やらクールビズのバージョンアップのようになってしまいましたが、佐賀県武雄市の「ウルトラクールビズ」はすごいですね。「半ズボン可」とのこと。確かに涼しそう!でも…。」というのが個人的な感想です。

そのほかの市町村も積極的に新しいクールビズを考案中のようにですが、そもそもの目的は「節電」ですよ。インパクトを求めてしまっているのも、その目的を見失われないでほしいものです。節電はできることから始めましょう!
と今、残業中のデスクのパソコンでこれを打っています…。わたしも早く仕事に慣れ、「残業しない」ことが立派な節電だと信じて、日々精進するのみです。(下)